

令和6年度 事業経営評価

所管局名	計画調整局	団体名	株式会社湊町開発センター
------	-------	-----	--------------

中経目標	中経目標	当期資金残高 2,007百万円（令和10年度末時点）
	具体的な内容	バスターミナル振興と合わせ、オフィス賃貸事業、店舗賃貸事業による安定的な収入の確保

財務運営の実績に関する評価（規程第4条(2)ア関係）

中期経営再建計画	評価指標	当期資金残高（百万円）				
	目標の達成状況	前年度実績	R6目標①	R6実績②	目標達成率②/①	達成状況
		3,869	3,609	3,895	107.92%	①(i)
	中期経営再建計画に対する進捗状況	ア	ア：「順調」イ：「遅れあり」ウ：「計画の見直し必要」	【達成状況】 ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった		

年度計画達成状況	目標の達成状況						
	実施事項①	オフィス賃貸事業収入の確保		成果指標① (単位)	事務所賃貸収入（百万円）		
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況	
		751	797	797	100.00%	①(i)	
	実施事項②	店舗賃貸事業収入の確保		成果指標② (単位)	店舗賃貸収入（百万円）		
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況	
		256	259	280	108.11%	①(i)	
	実施事項③	バスターミナルの振興		成果指標③ (単位)	バスターミナル収入（百万円）		
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況	
		149	149	163	109.40%	①(i)	
		中期経営再建計画に対する進捗状況	ア	ア：「順調」イ：「遅れあり」ウ：「計画の見直し必要」	【達成状況】 ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった		

特定団体の自己評価	当該年度の実績値に対する評価	最終目標(中期経営再建計画)達成に向けた課題
	<ul style="list-style-type: none"> オフィス賃貸事業収入は、店舗区画の一部を事務所区画へ用途変換した後も高入居率を維持しており、安定した賃貸事業収入の確保に繋がっている。また、空区画への誘致に際しては一定の賃料水準向上を達成。対前年比45百万円の増加(106%)、対目標比100%となった。3月末の入居率は98.1%。 店舗賃貸事業収入は、空区画への誘致や定借更新時の賃料水準の向上のほか海外旅行者の増などによる利用客の回復により、対前年比23百万円の増加(109%)、対目標比20百万円の増加(108%)となった。3月末入居率は88.7%。 バスターミナルの振興は、乗降客数が対前年比9万人増加(212万人→221万人過去最高水準)しているがバス発着回数は運転手不足による影響が大きく、コロナ禍前の約7割の水準となった。またバスターミナル収入は、観光バス事業として実施してきた一部のバス事業者運行を2Fバスターミナルを活用する事業形態へ変更したことにより、対前年比、対目標比とも13百万円の増加(109%)となった。 資金残高については、店舗賃貸事業収入の増加、修繕費及び設備投資の時期の変更等により3,895百万円と、対目標比で286百万円の増加(108%)となった。 	<ul style="list-style-type: none"> オフィス賃貸事業収入は、空室区画へのリーシング強化や賃料水準の向上。 店舗賃貸事業収入は、飲食店舗の増収や賃料水準の向上。 バスターミナルの振興は、運転手不足等による都市間運行便の減少や廃止。
	上記課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> オフィス賃貸事業において、賃料アップ交渉による退去跡空区画への確実なリーシングを行い97%の入居率確保。 店舗賃貸事業において、近隣ホテルとの連携強化、観光バス事業者との連携。定借終了時のタイミングで賃料アップ交渉。 バスターミナルの運営において、バス事業者との連携による新規路線開拓、利用者向けアメニティ等の改善。

専門家意見	公認会計士、税理士その他の財務に関する専門的な知識及び経験を有する者の意見（※団体からの報告）（規程第4条(2)イ関係）
	継続企業を前提とした当社の財務諸表（令和6年度決算）について、5月27日に仰星監査法人より無限定適正意見の監査報告書を受領している。

市の審査	成果指標の達成状況	審査結果（※監理委員会からの報告）（規程第4条(2)ウ関係）
	① ①：目標達成 ②：目標一部未達成 ③：目標全部未達成	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画達成状況については、すべての実施事項で目標達成となった。 現在の観光需要は、日本人・訪日外国人にかかわらず回復からさらに上昇しており、とりわけ、訪日外国人旅行者数・消費額は、ともに過去最高水準で推移しているため、今後もOCATビル及びバスターミナルの利用者数・消費額の増加が期待できることから、機会を捉えた方策を着実に実施することで収益向上につなげていく必要がある。

市の評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価（規程第4条(2)エ関係）
	<ul style="list-style-type: none"> 年度計画達成状況については、全ての実施事項で目標達成となっており、経営は全体的に順調に進んでいる。 現在の観光需要は、日本人・訪日外国人にかかわらず回復からさらに上昇しており、とりわけ、訪日外国人旅行者数・消費額は、ともに過去最高水準で推移しているため、今後もOCATビル及びバスターミナルの利用者数・消費額の増加が期待できることから、機会を捉えた方策を着実に実施することで収益向上につなげていく必要がある。
	助言等及び講ずるよう求めた措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）

【財務運営の実績に関する評価】

令和6年度 事業経営評価

所管局名	経済戦略局	団体名	アジア太平洋トレードセンター（株）
------	-------	-----	-------------------

中経目標	中経目標	当期資金残高 4,187百万円（2024(令和6)年度末時点）
	具体的な内容	不動産賃貸事業者としての競争力および咲洲コスモスクエア地区の活性化に寄与する集客機能の強化による安定的な収益の確保

財務運営の実績に関する評価（規程第4条(2)ア関係）

中期経営再建計画	評価指標	当期資金残高（百万円）				
	目標の達成状況	前年度実績	R6目標①	R6実績②	目標達成率②/①	達成状況
		4,996	4,187	5,219	124.65%	①(i)
	中期経営再建目標に対する進捗状況	ア	ア：「順調」イ：「遅れあり」ウ：「計画の見直し必要」 【達成状況】 ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった			

年度計画達成状況	目標の達成状況					
	実施事項①	収益の確保		成果指標① (単位)	オフィス部門営業利益（百万円）	
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況
		2,694	2,811	2,982	106.08%	①(i)
	実施事項②	収益の確保		成果指標② (単位)	商業部門営業利益（百万円）	
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況
		368	355	395	111.27%	①(i)
	実施事項③	収益の確保		成果指標③ (単位)	ホール部門営業利益（百万円）	
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況
		492	242	484	200.00%	①(i)
実施事項④	公共部門の活性化		成果指標④ (単位)	出展者数（社）		
目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況	
	372	395	381	96.46%	②(i)	
実施事項⑤	集客数の増加		成果指標⑤ (単位)	来館者数（万人）		
目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況	
	627	587	646	110.05%	①(i)	
	中期経営再建計画に対する進捗状況	ア	ア：「順調」イ：「遅れあり」ウ：「計画の見直し必要」 【達成状況】 ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった			

当該年度の実績値に対する評価	最終目標(中期経営再建計画)達成に向けた課題
特定団体の自己評価 【当期資金残高】 ・万博関連オフィスや商業店舗のテナント誘致、ATCギャラリーなどの貸館需要の獲得、時間貸しや月極契約の駐車場利用により収入が増加したことで、営業キャッシュフローを確保した。 ・3ヶ年をかけて進めてきた専有部照明のLED化工事が完工し、共用部を含め全館の照明LED化が完了したことで、電気料金高騰リスクの軽減に努めた。 ・これらの取り組みにより目標を達成した。 【収益の確保 - オフィス部門営業利益】 ・万博パビリオンの建築・内装を担う事業者等の想定以上の需要に対応すべく、ITM棟4階西側への区画新設等を実施したことで目標を達成した。 【収益の確保 - 商業部門営業利益】 ・万博のオフィシャルショップや商船三井の常設ミュージアムを誘致したことで目標を達成した。また、当年度末の入居率は100%を達成した。 【収益の確保 - ホール部門営業利益】 ・特定天井脱落対策工事により、ATCホールを約4ヶ月間、休館したが、ATCギャラリーなどホール以外の会場を積極的に活用する等、その影響を可能な限り低減したことで目標を達成した。 【公共部門の活性化 - 出展者数】 ・日本国際博覧会協会と連携したTEAM EXPO自然・環境セッション等のイベント・セミナーを開催し、万博の機運醸成とビジネスマッチングを促進するなど、展示場の活性化を図ったが、わずかながら目標未達となった。 【集客数の増加 - 来館者数】 ・新たなイベントの誘致を図るとともに、住之江区や近隣の大学、企業との連携催事を開催し、ATCファンづくりを推進した。また、12回目を迎えた「咲洲こどもEXPO」においては、国際機関や地域企業、大阪府・大阪市との連携も図り、地域の活性化と賑わいの創出に努めたことで目標を達成した。	最終年度のため記載省略
	上記課題への対応
	最終年度のため記載省略

専門家意見	公認会計士、税理士その他の財務に関する専門的な知識及び経験を有する者の意見（※団体からの報告）（規程第4条(2)イ関係） 継続企業を前提とした当社の財務諸表（令和6年度決算：令和7年5月19日付）について、あずさ監査法人より無限定適正意見の監査報告書を受領している。
--------------	--

市の審査	審査結果（※監理委員会からの報告）（規程第4条(2)ウ関係）
成果指標の達成状況 ② ①：目標達成 ②：目標一部未達成 ③：目標全部未達成	万博関連オフィスやテナント誘致への取組み、ATCギャラリーやイベントスペースの有効活用、積極的な自主催事の開催やSNSの発信により来館者数も増え、公共部門の活性化を除き、目標を達成することができた。ホール部門は、ATCホールの特定天井脱落対策等工事により4か月間休館したものの、ホール以外の会場積極的利用により影響を抑えることが出来た。公共部門は展示場の活性化を図り、前年度実績を2%上回ったものの、わずかではあるが今年度は目標未達成となった。

当該事業年度の評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価（規程第4条(2)エ関係）
	万博関連を含む様々な取組みによる経営努力を行い、公共部門の活性化を除き、目標を達成できたことは評価できる。引き続きポスト万博を見据えた取組みや施設の活性化及び経営の安定化に努められたい。
	助言等及び講ずるよう求めた措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ） なし

※中期経営再建目標の期間の最終年度の前年度又は最終年度に作成

中期経営再建目標の期間を通じた
財務運営の実績に関する評価（規程第5条(1)関係）

中 経 再 建 計 画	評価指標	当期資金残高（百万円）				計画名称	中期経営計画				
	区分	最終年度				計画期間	R4（2022）年度～R6（2024）年度				
	目標の 達成状況	計画初年目（R4年度）		計画2年目（R5年度）		計画3年目（R6年度）		計画4年目（〇〇年度）		計画5年目（〇〇年度）	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	4,300	4,504	4,333	4,996	4,187	5,219					

特 定 団 体 の 自 己 評 価	中期経営再建計画期間の実績値に対する評価	最終年度の前年度：中期経営再建計画の最終目標達成に向けた課題 最終年度：次期中期経営再建計画における課題
	<ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギー価格や物価上昇が続いたが、営業利益を確保し、特定調停に基づく債務の返済や中長期保全工事を効率的に実施した。 コロナ関連コールセンターの誘致、万博関連需要（テナントやMICE等）の獲得により、営業キャッシュフローの増加に努めた。 電気料金等のエネルギー価額が上昇したが、テナント請求料金の改定や照明LED化によるコスト削減に努めた。 これらの取り組みにより目標の資金残高を上回る実績となった。 債務超過額は中期経営再建計画と比較し、10億円改善。 ※令和6年度末時点での債務超過額 53億62百万円 	【資金残高】 <ul style="list-style-type: none"> 特定調停に基づく債務の返済及び返済等のための資金確保 【収益の確保等】 <ul style="list-style-type: none"> 万博関連ビジネスの取り込みと需要獲得 快適なオフィス環境の提供とテナント支援サービスの強化 複合施設ならではの営業力強化と魅力発信
		上記課題への対応 <ul style="list-style-type: none"> 営業キャッシュフローの確保（営業利益の確保等） 投資キャッシュフローの効率化（設備の状況を鑑み、優先度や必要な保全工事等を効率的に実施）

専 門 家 意 見	公認会計士、税理士その他の財務に関する専門的な知識及び経験を有する者の意見（※団体からの報告）（規程第5条(2)関係）
	継続企業を前提とした当社の財務諸表（令和6年度決算：令和7年5月19日付）について、あずさ監査法人より無限定適正意見の監査報告書を受領している。

市 の 審 査	評価指標の達成状況	審査結果（※監理委員会からの報告）（規程第5条(3)関係）
	①：目標達成 ②：目標一部未達成 ③：目標全部未達成	①

市 の 評 価	中期経営再建計画に定められている指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価（規程第5条(4)関係）
	<p>収益の確保に努め、特定調停に基づく債務返済や中期保全工事を着実に実施したうえで、当該計画期間に資金残高の目標を達成できたことは評価できる。今後も新たな3か年の中期経営再建計画に基づき、必要な中長期保全工事を実施しつつ、特定調停に基づく債務の返済を着実に履行できるよう努められたい。</p> <p>助言等及び講ずるよう求めた措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ） なし</p>

【財務運営の実績に関する評価】

令和6年度 事業経営評価

所管局名	建設局	団体名	クリスタ長堀株式会社
------	-----	-----	------------

中経目標	中経目標	当期資金残高	1,728百万円（2025(令和7)年度末時点）
	具体的な内容	安定的な収入の確保	

財務運営の実績に関する評価（規程第4条(2)ア関係）

中期経営再建計画	評価指標	当期資金残高（百万円）				
	目標の達成状況	前年度実績	R6目標①	R6実績②	目標達成率②/①	達成状況
		2,003	1,805	1,795	99.45%	②(i)
中期経営再建計画に対する進捗状況	イ	ア：「順調」イ：「遅れあり」ウ：「計画の見直し必要」		【達成状況】 ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった		

年度計画達成状況	目標の達成状況					
	実施事項①	収入の確保		成果指標① (単位)	賃料収入（百万円）	
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況
		941	987	974	98.68%	②(i)
	実施事項②	地下街の活性化		成果指標② (単位)	入居率（年度末）（%）	
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況
		91	97	91	93.81%	②(i)
	実施事項③	支出の削減		成果指標③ (単位)	一般管理費（百万円）	
	目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率①/②	達成状況
		66	58	59	98.31%	②(i)
実施事項④	収益の確保		成果指標④ (単位)	税引前当期純利益（百万円）		
目標の達成状況	R5年度実績	R6年度目標①	R6年度実績②	目標達成率②/①	達成状況	
	221	209	272	130.14%	①(i)	
中期経営再建計画に対する進捗状況	イ	ア：「順調」イ：「遅れあり」ウ：「計画の見直し必要」		【達成状況】 ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった		

特定団体の自己評価	当該年度の実績値に対する評価	最終目標(中期経営再建計画)達成に向けた課題
	<ul style="list-style-type: none"> 消費の緩やかな回復やインバウンドの増加により、テナント売上は前年を上回っているが、インバウンド需要を取り込みづらい業種においては厳しい状態が続いている。個人消費は、「一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる（月例経済報告：2025.3）」とされるように、未だ回復途上にあると見え、物価高騰や世界経済情勢の先行き不透明感などにより空き区画の解消は思うように進まず、賃料収入、入居率は目標を下回る結果となった。ただ、当地下街に誘致した経験のない業態の入店や初期費用の高騰に対し柔軟な契約内容により成約に至るケースが初めて出てくるなど成果も出てきており、引き続き収入確保に向けた取組みを強化する。 全体としての収益状況で見ると、イベントスペース使用料などの賃料以外の収入の増や人件費の減などにより税引前当期純利益は目標値を上回ることができた。 当期資金残高は、年度末時点の一時的な立替金の増により、目標を下回ることとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸物価の高騰などによるテナントの経営環境の悪化が長引いており、新規店舗の誘致や賃料水準の回復は厳しい状況にある。 来街者数は回復しつつあるがコロナ禍前の水準に至っておらず、万博等に伴う来販者の増を当地下街の来街者及び収入の増に結びつけていく必要がある。
	上記課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 当地下街に誘致した経験のない業態もリーシング対象として排除せず、また初期費用の高騰に対する柔軟な契約内容の検討により、長年空室となっている区画を含め積極的に空室改善を図る。 地上の人流を地下街に呼び込むべく、地下街出入口サインの増設や御堂筋でのイベントと連携した取組みや心齋橋筋商店街とコラボした周遊型イベントを実施するとともに、海外の日本情報WEBサイトへの記事掲出や海外のインフルエンサーを活用した情報発信などにより、万博に訪れるインバウンドの誘客を図る。 賃料以外の収入の確保に向け、イベントスペースの利用を促進するため新年度から料金体系を変更し、また国内外からの旅行者の増に対応するため、心齋橋駅に直結するメトロ広場と心齋橋筋商店街につながる滝の広場にコインロッカーを増設した。

専門家意見	公認会計士、税理士その他の財務に関する専門的な知識及び経験を有する者の意見（※団体からの報告）（規程第4条(2)イ関係）
	継続企業を前提とした当社の財務諸表（令和6年度決算）について、5月21日付にて、有限責任あずさ監査法人より無限定適正意見の監査報告書を受領している。

成果指標の達成状況		審査結果（※監理委員会からの報告）（規程第4条(2)ウ関係）
市の審査	②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸物価の高騰やテナント経営環境悪化の影響により賃料増額が困難な状況が続いたことによって賃料収入は目標を下回る結果となったが、これまで地下街に誘致した経験のない業態についても排除せず、リーシング対象を拡大することによって賃料収入の確保に努め、前年比で増収した。 ・ 経済状況の先行き不透明感から新規店舗の誘致が困難となり、入居率は目標を下回る結果となったが、初期費用の高騰に対して柔軟な契約内容を提示し空き区画の解消に努めた。 ・ イベントスペース使用料などの賃料以外の収入増加や人件費の減少、また、一過性の補助金収入等もあり、税引前当期純利益は目標を大きく上回ったが、工事費立替基金増の影響もあり当期資金残高は目標未達成となった。
	<ul style="list-style-type: none"> ①：目標達成 ②：目標一部未達成 ③：目標全部未達成 	

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価（規程第4条(2)エ関係）	
市の評価	<p>当該事業年度の指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価（規程第4条(2)エ関係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税引前当期純利益は目標を達成しているものの、賃料収入及び入居率は目標未達成となっている。また、当期資金残高についても、中期経営再建計画で定めた目標を下回っていることから、中期経営再建目標及び中期経営再建計画に対する進捗状況としては「イ」：遅れありと評価される。 ・ 物価高騰など外部要因による影響を受け、厳しい経営環境に直面しているが、今後も課題に対する具体的な解決策を実践することにより、目標未達となっている賃料収入の増加と入居率の向上を図ることでさらなる収益を確保し、資金残高の維持に努められたい。
	<p>助言等及び講ずるよう求めた措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）</p>

※中期経営再建目標の期間の最終年度の前年度又は最終年度に作成

中期経営再建目標の期間を通じた
財務運営の実績に関する評価（規程第5条(1)関係）

中 経 再 建 計 画	評価指標	当期資金残高（1,728百万円）				計画名称	中期経営計画				
	区分	最終年度の前年度				計画期間	R3(2021)年度～R7(2025)年度				
	目標の 達成状況	計画初年目（R3年度） 目標	計画初年目（R3年度） 実績	計画2年目（R4年度） 目標	計画2年目（R4年度） 実績	計画3年目（R5年度） 目標	計画3年目（R5年度） 実績	計画4年目（R6年度） 目標	計画4年目（R6年度） 実績	計画5年目（R7年度） 目標	計画5年目（R7年度） 実績
		1,945	1,976	1,929	1,927	1,861	2,003	1,805	1,795	1,728	-

特 定 団 体 の 自 己 評 価	中期経営再建計画期間の実績値に対する評価	最終年度の前年度：中期経営再建計画の最終目標達成に向けた課題 最終年度：次期中期経営再建計画における課題
	コロナ禍からの回復過程で諸物価高騰、人手不足といった新たな課題に直面し、賃料収入や入居率は想定を下回ったが、賃料収入増に向けての取組みに加え、賃料以外の収入の確保、経費の削減により、収益（税引前利益）確保については、堅調に推移している。資金残高については、目標達成に向けさらなる努力が必要であると考えている。	評価指標である資金残高の確保のためには、賃料収入を柱とした収入の確保が必要であり、空室率の改善が鍵となる。そのために、効果的なリーシングと地下街の活性化を推進していかねばならない。
		上記課題への対応 積極的かつ柔軟なリーシングに努めるとともに、地上の人流を地下街に呼び込む諸施策を推進し、集客増・収入増につなげていく。

専 門 家 意 見	公認会計士、税理士その他の財務に関する専門的な知識及び経験を有する者の意見（※団体からの報告）（規程第5条(2)関係）
	継続企業を前提とした当社の財務諸表（令和6年度決算）について、5月21日付にて、有限責任あずさ監査法人より無限定適正意見の監査報告書を受領している。

市 の 審 査	評価指標の達成状況	審査結果（※監理委員会からの報告）（規程第5条(3)関係）
	② ①：目標達成 ②：目標一部未達成 ③：目標全部未達成	本目標期間では新型コロナウイルスやウクライナ危機による世界情勢の変化に伴う諸物価の高騰及び人手不足など、テナント出店意欲が抑制される要素が多く、入居率の改善に苦戦する状況が続いた。また、消費の緩やかな回復やインバウンドの増加によりテナント売上が増加し、リーシング対象の拡大等の諸施策により、賃料収入は期間中前年比較で増収は継続しているものの、資金残高については期間中目標未達となる年度もあった。

市 の 評 価	中期経営再建計画に定められている指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価（規程第5条(4)関係）
	<ul style="list-style-type: none"> 資金残高については目標未達成となる年もあったが、賃料収入の確保に向けて柔軟なリーシングを行い資金残高の維持に努めたことについては認められる。 課題解決に向けた対応を実行することにより、期間を通して業況回復の兆しは見えており、引き続き様々な解決策を講じることで空き区画の解消を図り、賃料収入を確保することによって資金残高の維持に努められたい。
	助言等及び講ずるよう求めた措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）